

## 青色申告会計の新年度更新処理

- ▶ 新年度になってもそのまま新しい年度の仕訳入力ができますので、決算が確定してから新年度更新処理を行ってください。
- ▶ 新年度の更新処理を実行すると、次のようになります。
  - 新年度の伝票のみが、新年度のデータフォルダにコピーされます。
  - 会計年度末の貸借対照表の残額が繰り越されて新年度の繰越金になります。
  - 会計の期首年月日は自動的に新年度になります。

### 1. 新年度更新処理

補助作業メニュー ⇒ 新年度更新処理 を実行すると、次の画面になります。

- ▶ 新年度の会計名とデータパス名を変更してください。
- ▶ 前年度の会計の期末期日を確認して、実行ボタンを押してください。

2016年会計

**新年度更新処理**

	会計名	データベース名
前年度	2016年会計	2016¥
新年度	2017年会計	2017¥

新年度の会計名とデータベース名を入れてください。

**前年度会計の期末期日**

2016 年 12 月 31 日

【注意】新年度期末期日ではありません。  
正しい期日が表示されますが、もし違う場合はこの処理を中断して、会計期首期日等を確認してください。

実行

キャンセル

0%

- ▶ この処理が終わると、
  - 会計登録に新しい年度の会計が登録されます。
  - 新しい年度を選択して、会計期首、繰越金などの金額を確かめてください。
  - 仕訳入力に入り、新年度の仕訳のみになっていることを確認してください。
  - 個人事業の場合は、次の説明のように繰越金の調整を行ってください。

## 2. 新年祖更新処理後の確認事項

### 会計期首

初期設定メニュー ⇒ 会計期首  
会計期首を確認してください。

<b>会計期首</b>	
<input type="text" value="2017/01/01"/>	<input type="button" value="IS"/>
例) 2005/01/01	

### 期首繰越金

初期設定メニュー ⇒ 繰越金設定  
期首繰越金を確認します。

code	科目名	期首繰越
▶1000	【流動資産】	26,369,704
1005	現金預金	24,534,057
1010	現金	55,111
1040	預金1	4,106,301
1041	預金2	602,451
1045	預金3	
1050	預金4	
1060	郵貯振替	1,061,754
1070	郵便貯金	18,619,859
1080	あひる銀行	88,581
1099	諸口	
1100	固定資産	

### 個人事業の場合は

事業主貸、事業主借、前期繰越利益は0円にして、借方合計と貸方合計の差額を元入金で調整してください。

具体的には、下表のように事業主貸、事業主借、前期繰越利益及び元入金を0円して、借方合計と貸方合計の差額を元入金に入れてください。

事業主貸	xxx 円 ⇒ 0 円
事業主借	yyy 円 ⇒ 0 円
前期繰越利益	Zzz 円 ⇒ 0 円
元入金	0 円にして、借方合計と貸方合計の差額を元入金にする

## 3. 前年実績

前年実績も確認してください。損益計算書で前年比較が出来ます。